

虹いろ No 7



リレー題字：小林憲賀さん 絵：築野 雄さん

特集

- ◆ 八ヶ岳名水会と共に歩む中で
- ◆ 瑞宝太鼓がやってきた！
- ◆ 新人職員抱負
- ◆ その他

八ヶ岳名水会と共に歩む中で

帝京学園短期大学保育科

准教授 里見 達也

八ヶ岳名水会との出会いは、学生の実習巡回に伺ったことから始まりました。気がつくくと、六年が過ぎようとしています。

学生にとっては、「保育実習」（施設）の実習先として、障害のある方と共生する貴重な実体験の場で、さまざまな生活面でどのような支援が可能なかを探る絶好のチャンスとなっているようです。



さらに、就職した者にとっては、実働部隊として利用される方と汗水流して共に「活きる」意味を探しているように見受けられます。

私自身も、「理事」という大役をいただき、諸先輩と運営の一端に携わることができましたこと、光栄に思っています。

現在のめまぐるしい社会変動の中で、障害のある方にとって、落ち着いて豊かな生活が送れるような自己実現の場をいかにして保障できるかが私たちに問われているように感じます。

その過程で、私たちができることは、ほんの小さな「一歩」だと思います。

しかし、その「一歩」が、入所者の方にとって豊かな生活の扉を少しでも開けることにつながれば、それは大きな「進歩」だと考えられるでしょう。その願いを込めて新たな「二歩」を今、踏み出そうとしています。

これまでいろいろな形でかかわり、一緒に歩む中で、社会資源を有効に活用しながら共に「活きる」ことを通し、本来の生を営む「生きる」ことを全うできることがいかに大切であるかを強く感じるようになりました。

私たちは利用される方と共に「二歩」

を踏み出し、さらにその「一歩」が新たな「進歩」につながるよう、これからも努力していくことを、ここに宣言しましょう。

さらに、この熱き灯火を次世代へとつなぎ、「共生」という灯火を永々と灯しつづけて行きましょう。

(八ヶ岳名水会理事)



平成二十五年度八ヶ岳名水会 職員総会が開かれました!

今年度も職員総会が五月十日、十六日、二十一日の三日間に分けて行われました。内容は先ず坂本理事長の挨拶より始まり次に各事業所の職員による事業活動の内容そして職員の自己紹介を行いました。各事業所それぞれのチームカラーが支援に活かされている様子が良く伺えました。事務局員としま



理事長の挨拶



真剣に話を聞く参加者

しては全職員とまでは行きませんが出席者の顔ぶれは何とかわかります。皆さんは初見えの方も多くいられた事でしょう。現在八ヶ岳名水会は200名近くの職員が就業しているのですから無理はないのです・・・。

次に坂本統括施設長からの「八ヶ岳名水会の理念」についての話がありました。

「何人も平等である」という創設の精心を基に当事者の方々の声や意向にしっかりと向き合う姿勢や地域の人々の声にもしっかりと向き合う姿勢で開設

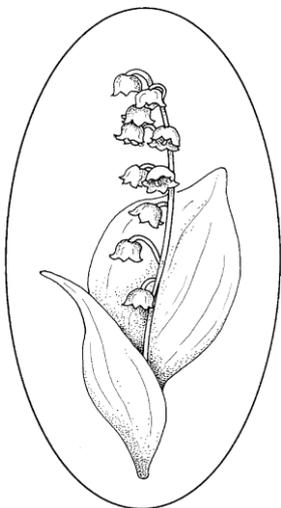
以来20年。とにかく本人サイドで事業を進め、そしてこれからも変わらずに進めて行きたいという話でした。

職員の皆さん、是非この理念をしっかりと心に刻んで毎日の支援に臨みましょう。次に小泉副統括施設長より経営状況についての話でした。名水会の年間の収入や支出、今後の事業展開についてです。皆さんは名水会の経営状況について気にされた事がありますか?

ぜひ今後は今自分の支援は数字にするという観点で視るのも「仕事」という面では必要な事でもありますね。

今回の総会で感じた事ですが、八ヶ岳名水会はこのようなすばらしい理念に基づきすばらしい支援そしてすばらしい職場づくりという目標に向かってこれから先一歩ずつ歩んで行くことができたら、「より素晴らしい八ヶ岳名水会」になるのではないのでしょうか。

事務局スタッフ 清水 久美子



瑞宝太鼓がやってきた！

平成二十五年六月一日（土）に北杜市甲斐駒センターせせらぎで瑞宝太鼓演奏会が行われました。

瑞宝太鼓はプロの和太鼓集団

瑞宝太鼓は知的障がい者職業訓練施設である「第三セクター・長崎能力開発センター」のクラブ活動として昭和六十二年九月に発足しました。能力開発センター修了後もサークル活動の一環として存続し、和太鼓が好きな人が集まり練習を重ねてきました。

5度の海外公演をはじめ国内外のイベントに多数参加し徐々に力をつけてきました。出演依頼が増加する中で、メンバーからの強い希望もあり、平成九年四月これまでの仕事を辞めて、職業技能集団としての道を選びました。

現在は年間百五十回以上の公演や講習活動を中心に活動しています。

平成十五年四月より、就労継続支援事業（A型）「瑞宝太鼓」に移行。特技・特性を生かした活動を支援し、自信と誇りを培い、自立した社会生活を目指

している団体です。

NPO法人杜の風・八ヶ岳名水会並びに峡北地域の各法人、学校、団体等に協力をして頂きました。

前日の夜には、キッズクラブひまわりにて懇親会が行われ、美味しいお肉と春の陽や星の里の野菜でのバーベキューや楽一の美味しいカレーとほうとうが振舞われました。皆さん沢山食べ、次の日の演奏の活力になったようでした。

瑞宝太鼓のメンバー六人はみんな明るくユーモアにあふれる方ばかり。笑いの絶えない懇親会になりました。

そして当日会場である甲斐駒センターせせらぎは超満員。約四百人のお客様が来ました。

瑞宝太鼓の演奏の前には、地元長坂の甲州八ヶ峰太鼓保存会とわかば支援学校太鼓部の演奏も行われ、素晴らしい演奏で会場を大いに盛り上げらせてくれました。

そして、満を持して瑞宝太鼓の演奏が始まりました。笛の音と語りが始まると、皆静かに耳を傾けていました。

太鼓の演奏に従って、参加者皆が手を叩いたり、とび跳ねたりと思いきいに楽しむ様子が見えられました。

最後の演奏が終わると同時にアンコールが起こり、再びメンバーがステージへ。演奏の中で盛り上がったお客さん達はステージへ。太鼓に合わせて一緒に踊り、楽しいひとときとなりました。

春の陽支援員

立川 瞳



力あふれる太鼓の演奏

春の陽

田植え祭りから学ぶ



「オーイ、綱を張り替えてもいいですか。」
「一寸待って。ここまだ植わってないよ。」

今年も春の陽恒例の田植え祭りが盛大に開催されました。参加者は県内外から、職員の家族、知人、友人、農場周辺の人たちです。五十名近い人たちが初めて田植えに挑戦する人、素足で泥につかる人、カエルを見つけてはしゃぐ子どもたち等が横一列に並び田植えをする光景は実に見事なものです。初めて出会った人も多い中で、お互い助け合いながらの共同作業です。慣れない人には隣の人が助けながら一作を完成させます。両端にて綱を張る人も、苗を配る人も大変です。

「強く張らないと目印が見えないよ。」
「曲がっているよ。」
「苗がないよ。」



「まだ植え終わってないよ。」

と注文も多数入りま
す。でも大勢の人た
ちの力は強力です。

和やかな雰囲気の中
で、田植え作業は着
実に進んでいきまし
た。この田植え作業

のよいところは、今
日初めて出会った人

と、お互い助け合い
ながら一つの目標を

完成させることです。
学ぶことや教えられ

ることもたくさんあ
ります。出会い、思

いやり、助け合う心
は、一日だけの貴重

な体験です。さらに、
利用者さんにと

っても、苗を運んだり、
お茶やお餅を
焼いて接待したりと
とても貴重な楽しい
時間です。

後日、葦崎東中の生徒さんたちも田
植えに協力してくれました。種から育
てた苗の話をする、「すごいなあ。」と
感心していました。東中の生徒さんは
毎年参加してくれます。またキッズひ



みんな一列に並んだ！

まわりの人たちが今年も参加してくれ
ました。最初はためらっていたのです
が、やがて泥まみれになりながらも一
本一本丁寧に植えてくれ、みんなが案
山子も作ってくれました。
こうして今年の田植えも百人近い人
たちの協力をいただき、無事終了しま
した。

春の陽支援員

篠原 充



案山子も作りました。

蕎麦処「豆の花」

栗原 衛

「蕎麦打てます？」

オオムラサキセンターで豆腐作り体験のお手伝いをしていたボランティアの私に講師でこられた「豆の花」の仁田坂さんから声をかけられました。「まねごとなら出来ますけど。」「うちのお店で蕎麦打ちのボランティアしてみませんか？」

北杜市が気に入って東京から移住してまだ日が浅く、地域とのふれあいが出る出会いを探していたので「一度見学に行かせてもらいます。」と。これが私と「豆の花」の出会いです。

先輩の檜原さんの指導を受けながら少しずつ蕎麦打ちの要領を覚え、独り立ちをさせてもらえるようになってもう四年が経ちました。今では週に1度の蕎麦打ちでスタッフの方や利用者の皆さんとお付き合ひできる仕事は何よりの楽しみになっています。

テーブルの準備・お茶出し・注文受け



などを任されているA君、食器や調理器具の準備・暖簾出しなど時間通りにセッティングをすすめるB君、うどん打ちを担当しているC君、かき揚げ名人のD君など、利用者さんがそれぞれ役割を果たしてこの店が運営されています。こうした様子を見てみると、ここまで指導されてきたスタッフの皆さんのご苦労がひしひしと感じられます。大きな声での挨拶、時には怒ったり、笑ったり、この店ではとっても人間的なふれあいが濃厚なんです。お客様は常連さんが6割、たまに来られる方が3割、まったくの新規

さんが1割ぐらいでしょうか。何より嬉しいのは「美味しかったから」と新規さんがまた食べに来て下さる時ですね。「豆の花」では月・火・木曜日が蕎麦の日で3人のボランティアが交代で蕎麦を打っています。

3人の蕎麦を食べ比べた方が「3人3様でそれぞれに美味しい」と言われるのですが、同じ蕎麦粉で打っても打ち手によって香りや食感は微妙に違うようです。それだけ蕎麦打ちには奥が深く、私も湿度や気温に気を配りながら、より美味しい蕎麦を目指して打っております。召し上がられた時には遠慮なく評価の声を聞かせてください。

どうぞ皆さんお蕎麦を食べに来て下さいね。(豆の花で蕎麦打ちをして下さっている方です。感謝。)

この欄は、毎回、八ヶ岳名水会で働く職員やボランティアの方が、交替で書き綴るコーナーです。女取の泉は、長坂小荒間の森の中にある美しい泉です。



社会福祉法人松の花基金より
重度・高齢者活動場所トイレ改修工事



財団法人 山梨福祉財団
バリアフリートイレへの手すり設置工事

「報告」
諸団体様からいただいた補助金・助成金に
後援会からの寄付金をプラスし購入・改修
した設備です。



公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団
餃子焼器 業務用冷蔵庫

菜の花

後援会からいただいた寄付金の一部を下記の
改修工事、研修等に活用させて頂きました。

- ・星の里老朽化に伴う改修工事(床暖房工事他)
(研修)
- ・山梨フォーラム in 甲府 2012
- ・相談支援から地域を考える
- ・アメニティーフォーラム 17



高野山真言宗青年教師会様より
(山梨県肢体不自由児協会を通じて)
車イス2台

皆さまの温かいご支援にあらためて心より厚く御礼申し上げます。
利用者さんの日々の生活や活動の中で
大切に使用させていただきます。



平成 25 年度新人職員です！



氏名	抱負	配属
碓氷 功治	あまり関わることがない利用者の名前も覚え、積極的に話しかける。その時その一瞬を大切に	春の陽
中村萌々子	言葉ではなく心と心で通じ合い、分かりあえるように利用者さんと関わっていきたい。利用者さんが楽しく過ごせるように支援していきたいです。	春の陽
石部 海月	利用者との関わりを大事にし少しでも多くの仕事を覚え八ヶ岳名水会の一員として一生懸命頑張っていきたいと思います。	生活支援センター陽だまり
大芝 菜	健康に毎日楽しく働きたいです。	星の里
堀内 勇斗	利用者とのより良い関係作り。	星の里
巖崎 加奈	星の里での集団生活という日々変化していく環境の中で、利用者さん一人一人のニーズに応えられるように、まず信頼関係を築いて行きたいです。	星の里
金指 聡子	本当にこれで良いのか、どうするのが良いのか、問い続けられる支援員でありたいと思います。	星の里
風間 春花	周りをよく見て色んなことに気づける視点を持ち、先のことを考えて行動していけるよう努力していく。	生活支援センター陽だまり
横森 紘子	一人でも多くの利用者の心に、安心を届けられる支援員を目指す。	星の里
小池美代子	利用者さんとの関係を上手にしたい。	星の里

佐野 元紀	社会人一年目ということで至らぬ点があるかと思いますが、一生懸命頑張ります！！	キッズひまわり
錦見 祐治	どのような支援を求めているか、いち早く察知して、自分ができるベスト支援をいつでも心掛け、日々努力していきたいです。	生活支援センター陽だまり
錦見 裕子	利用者の方々が好きな自分でいられるような支援を心ざしていきたいと思います。	キッズひまわり
相川くらら	まだ利用者さん一人一人との接し方などわからないところもたくさんありますが、日々考えていながら頑張ります。よろしく願いいたします。	生活支援センター陽だまり
加藤 麻記	みなさんの生活に少しでもお力添えできるように、一步一步頑張っていきたいと思うので、どうぞよろしくお願いいたします。	生活支援センター陽だまり
五味真理奈	社会人としての自覚をもちたくさんのことを学びながら知識を身につけ、利用者のことを第一に考えられる職員でありたいと思います。	生活支援センター陽だまり
柿崎 純子	利用者さんと沢山話などして信頼関係を築き、楽しく過ごせるように頑張っていこうと思います。	星の里
水津 令子	利用者さんとの信頼関係をベースに一人ひとり、丁寧に関わっていくように心がけます。	星の里

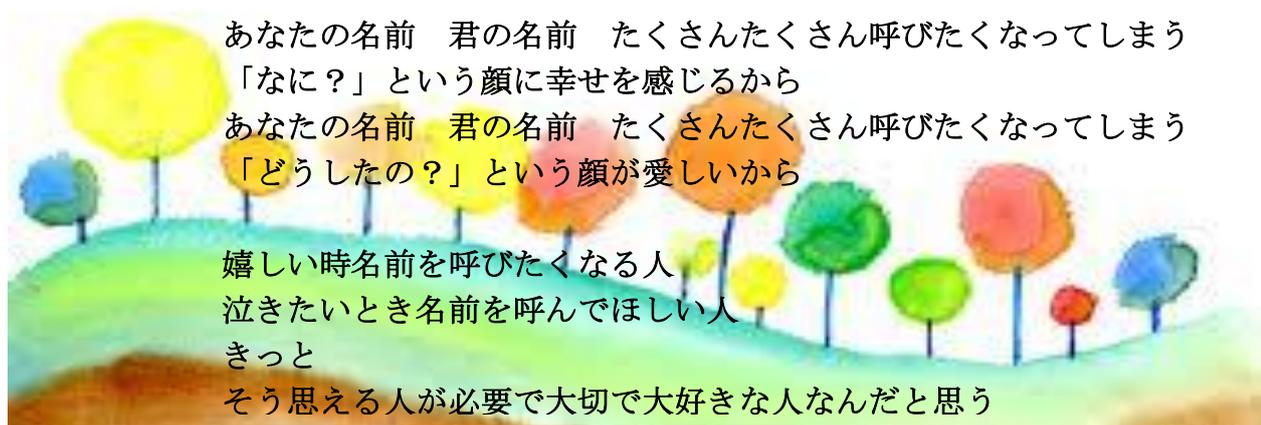


「なまえ」 佐藤 未来

人が一番の喜びを感じる時は
 大好きな人に自分の名前を呼んでもらえる時だと思う
 あなたから呼んでもらうと嬉しくなってしまう
 これからもいっぱいいっぱい呼んでもらえるといいな

人が苦しい時叫びたくなる言葉は
 大好きで本当に心から信じている人の名前だと思う
 君の名前を呼んで振り向いてくれると安心するよ
 これからもずっとずっと声が届くところにいてほしいな

未来さんは菜の花の利用者です。歌詞や詩を創る素敵な女性です。



ありがとうございます！

○題字を書いてくださった方

後援会員で有限会社サンピス会長

小林 憲賀さん

○表紙絵を描いてくださった方

春の陽利用者 築野 雄さん

素敵な字と絵をありがとうございます！

援農ボランティア募集

春の陽農場では、草取り・草刈・田植え・収穫などの援農ボランティアを通常募集しています。

連絡先 0551(32)7373

春の陽職員 関根まで

訃報

ケアホームランタン利用者

鈴木久高さん 享年七十九歳

春の陽利用者

赤沢 学さん 享年六十二歳

菜の花利用者

大塚正春さん 享年六十九歳

謹んでお悔やみ申し上げます。

子ヤギが来ました！

菜の花利用者中島睦美さん宅より星の里に、牡と雌の子ヤギをそれぞれ一頭ずついただきました。名前はドン君とアキちゃんです。ありがとうございます。



編集後記

先日、保護者会の奉仕作業がありました。暑い中、皆さん草刈や清掃作業に尊い汗を流してくださいました。本当に感謝です。私も参加したのですが、草刈の最中に「タムムシ」を見つけました。私の人生の中で、わずかに四匹目の出会いでした。しばらく観察して放してやりましたが、「玉虫色Ⅱ虹色」は、本当に魅力的な宝石のようでした。「タムムシ」を発見した場所は、実は、北杜市より借り受けることになった日野春小学校の校庭です。新たな活動エリアに期待が高まる出来事でした。⊕

社会福祉法人 八ヶ岳名水会

〒408-0031 山梨県北杜市長坂町小荒間 1095-7
TEL 0551-32-7355 FAX 0551-32-7350
E-mail hoshinosato@coast.ocn.ne.jp

タムムシ科

タムムシ

英名

ジュエルビートル



広報委員会スタッフ

廣瀬政光 山口和江 (以上菜の花) 坂本ます子 茂木洋輔 相吉謙輔
望月杏沙美 徳川吉彦 (以上星の里) 坂本むつみ 鈴木直子 (以上事務局)
立川 瞳 河西悠介 (以上春の陽) 清水めぐみ 中村和稔 (以上陽だまり)